

鵜川・沙流川流域委員会（第3回）議事要旨

■日 時：令和7年7月23日（水）13：30～16：00

■開催場所：平取町中央公民館 大ホール（WEB 開催併用）

■出席者：中津川委員長、井上委員（WEB）、岩崎委員、木村委員、楠田委員、
小坂委員、鈴木委員、谷口委員（WEB）（以上8名）

※委員長以降の順は五十音順

■議題：沙流川水系河川整備計画〔変更〕（原案）について

■議事要旨

【委員長】

- ・ 指標種の選定の考え方の整理はどのような状況か。

【事務局】

- ・ 委員からの指摘を受け、注目種だけでなく多様な種が指標種として選定されるよう検討している。

【委員】

- ・ 鵜川と沙流川では河川の文化的特徴が異なる。地域住民にとって鵜川は「女川」、沙流川は「男川」と表現され、橋の形状も違い、地域文化が表れている。このような文化的背景を踏まえ、河川整備計画にどのように反映されるのか。

【事務局】

- ・ それぞれの河川の文化的特徴があるが、特に沙流川はアイヌ文化との関わりが深いため、その点に配慮した記載としている。

【委員】

- ・ 過去発生したような鵜川と沙流川で同時に起こる災害の対策についてどのように考えているか。例えば、上流で山地崩壊が生じ、下流で泥流が発生することによる漁業への対応策等の記載はあるか。

【事務局】

- ・ 泥流に関しては、沙流川においては総合土砂管理の観点から、対策の必要性を本文に記載している。漁業関係者への情報共有含め、関係機関と連携し、流域で一体となって対応していく予定である。

【委員】

- ・ シシヤモに関する対策について、河川整備計画変更に際し、どのような成果を想定しているのか。整備計画におけるシシヤモの位置付けを明確にしてほしい。近年の温暖化や河川整備の影響により、シシヤモの減少が著しい課題を認識している。

【事務局】

- ・ 河川整備にあたっては、シシヤモの産卵環境、河床材料の状態も含め、引き続きモニタリングを実施していく。

【委員】

- ・ 資料 2 の 28 ページ（本文 63 ページ）の光ファイバーによる情報伝達について、地域住民への伝達経路を図に含めるか、文章で明確に記載してはどうか。

【事務局】

- ・ ご指摘を踏まえ、修正する。

【委員】

- ・ 資料 2 の 37 ページ（本文 82 ページ）において、近年重要視されている BCP（事業継続計画）について記載してはどうか。行政だけでなく地域や商店街などでも取り組まれている点も含めて記載を検討して欲しい。

【事務局】

- ・ BCP に関連する記載を検討する。

【委員】

- ・ 本文 84 ページの「マイ・タイムラインの充実」という表現に違和感がある。「マイ・タイムラインの作成による地域防災力の向上・充実」などの表現が適切ではないか。

【事務局】

- ・ ご指摘を踏まえて表現を検討する。

【委員】

- ・ 資料 2 の 13 ページ（本文 50 ページ）の浸水リスク図において、消防署や警察署など災害時に重要となる施設を明示してはどうか。

【事務局】

- ・ 河川整備計画ではリスクを示すことが主目的だが、今後は住民にどのように効果的に伝え

るかを含めて検討する必要がある。より分かりやすい形で地域住民に提示し、自分の住んでいる場所や重要施設の状況が理解できるようにしていきたい。

【委員】

- ・ 土砂動態に関して、調査・研究やモニタリング結果を踏まえた実施内容を検討する場が必要である。本文 48 ページの総合的な土砂管理の項目で、そのような検討体制について記載してはどうか。
- ・ 第 1 回流域委員会で示された「出水とその後の細粒分分布状況」などのデータは、単なるモニタリングを超えた専門的な検討の場があつてこそ得られた知見である。30 年という長期計画の中で、新たな課題に対応するための検討体制が重要である。
- ・ 鵠川では細粒分が年々減少しているのに対し、沙流川では逆に増加している。この違いは洪水毎で、細かい粒子が増えている沙流川の特徴を示している。細かい粒子がシシャモの卵の付着に悪影響を与えている可能性もあり、このような分析ができるのがモニタリングの場であると考ええる。

【委員長】

- ・ 土砂動態だけではないが、PDCA サイクルを効果的に機能させるためには、専門家や地域住民の意見聴取や定期的なチェック体制の構築が望ましい。例えば流域委員会を定期的に開催し、進捗状況を確認する仕組みも検討してはどうか。

【事務局】

- ・ シシャモを対象とした検討会は実施していたが、より包括的な検討の場は現状では設けられていないので、ご指摘を踏まえて今後検討していく。

【委員】

- ・ 土砂動態に関する検討会の基盤は既に存在していると思われる。総合土砂管理計画の具体的な完成時期はあるのか。

【事務局】

- ・ 総合土砂管理計画の検討に際し、寒地土木研究所とはこれまで連携してきた経緯がある。総合土砂管理計画の具体的な計画完成時期は現時点では示せないが、引き続き検討を進めていく。

【委員】

- ・ 本文 90-91 ページのごみ問題への対応は、新たな取り組みなのか、あるいは継続的な対策なのか。

【事務局】

- ・ ごみの問題自体は以前から存在するが、「ごみマップ」などの新たな啓発手法は比較的最近の取り組みである。今後も工夫しながら対策を継続していく。

【委員】

- ・ アイヌ文化にとってシマフクロウは非常に重要な存在である。文化的景観への配慮を謳うのであれば、シマフクロウについても記載してはどうか。また、アイヌ文化の有用植物においても記載してほしい。
- ・ 同様にカワシンジュガイも重要である。これらの生物は相互に関連しておりカワシンジュガイの復活にはサクラマスの上流が必要など、体系的な視点が必要である。種の記載には地域住民の意見を十分に反映してほしい。

【事務局】

- ・ 魚道等の連続性改善などは記載しているが、より踏み込んだ内容を検討する。シマフクロウの生息環境回復には餌となるサクラマスの上流が必要であり、林野庁など関係機関とも連携し、そのような生態系を考慮した総合的な取組を検討する。

【委員】

- ・ 現状の沙流川でワンドを創出できるのか疑問がある。かつては自然のワンドが多く存在し、ガマやヌマガイなどが生息していた。
- ・ 整備内容については地域の意見を十分に聴取し、検討から工事実施にかけて保全対象に配慮してほしい。

【事務局】

- ・ 具体的な河川整備に向けて、地域と連携しながら検討を進めていく。

【委員】

- ・ 少子高齢化により消防団など地域防災の担い手が減少している。災害時の対応を考えると、地域の建設業者の存在が重要である。国や北海道として、地域の防災力維持のための業者支援をどう考えているか。

【事務局】

- ・ 地域を守る担い手確保の重要性は室蘭開発建設部としても十分に理解しており、地域防災力の維持という観点からも重要な課題として認識している。

【委員】

- ・ 二風谷ダムの景観問題は重要である。現在は二風谷ダムの貯水位を上げているが、貯水位を最低水位である 40m で維持していた 2 年間で樹木が繁茂しており、想定している土砂堆積状況が変わる可能性があるので、継続的にモニタリングしてほしい。

【事務局】

- ・ 樹木の生育はダム管理上も好ましくないため、伐採など適切な管理を実施していく。

【委員】

- ・ これまで平取ダムで行ってきたアイヌ文化への配慮や環境モニタリングはどうなるのか。

【事務局】

- ・ これまで培ってきた知見や取り組みを継承していく。

【委員長】

- ・ アイヌ文化の保存・伝承・振興に関しては、精神論だけでなく具体的な仕組みやスキームを示すべきである。

【事務局】

- ・ ご指摘を踏まえ、検討する。

【委員】

- ・ 計画対象期間を 30 年としているが、4 度上昇シナリオを考慮しなくてよいのか。2 度上昇を検討対象とした理由は何か。

【事務局】

- ・ 国の気候変動を踏まえた治水対策として、2 度上昇時における外力を基本としつつ、4 度上昇シナリオについてもリスクの評価等を行う方針である。

【委員】

- ・ 特に極端現象の抽出などに活用できるので、4 度上昇のアンサンブルデータも、今後のソフト対策検討に活用してほしい。

【委員長】

- ・ 2 度上昇シナリオは 2050 年頃を目標とした計画論であり、それ以降は改めて見直しが必要になるだろう。現在の気温上昇や降雨状況を見ると、その時期は既に来ているかもしれない

いが、現在の全国的な計画論ではこのように設定されていると理解している。

【委員】

- ・ 本文 22 ページでは、2 度上昇シナリオを整備の対象としているにもかかわらず、「過去実験」と「4 度上昇」の比較のみを示しているため、2 度上昇のデータも掲載すべきではないか。

【事務局】

- ・ ご指摘を踏まえ、2 度上昇のデータも含めた記載に修正する。

【委員】

- ・ 計画対象期間について、いつからの 30 年か明記してはどうか。現行計画では「平成 18 年度からおおむね 20 年」と明記されている。また、なぜ 20 年から 30 年に延長したのか理由を教えてほしい。

【事務局】

記載内容を検討する。計画対象期間の 30 年は、気候変動への対応のための事業量と近年の事業費を踏まえて設定したものである。

【委員長】

- ・ 河川整備計画を作って終わりではなく、PDCA サイクルを回していく仕組みを構築することが重要である。

以 上